

東京団地倉庫の建物の耐震及び防災について

平和島事業所

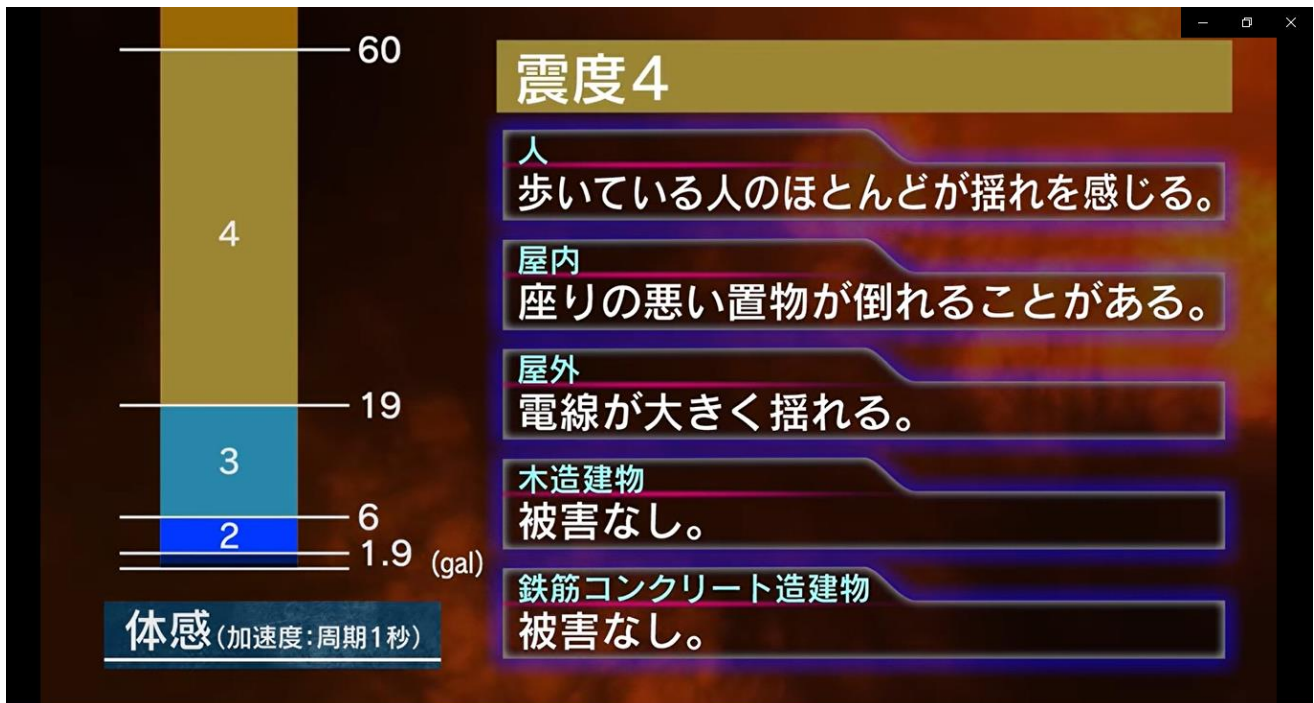
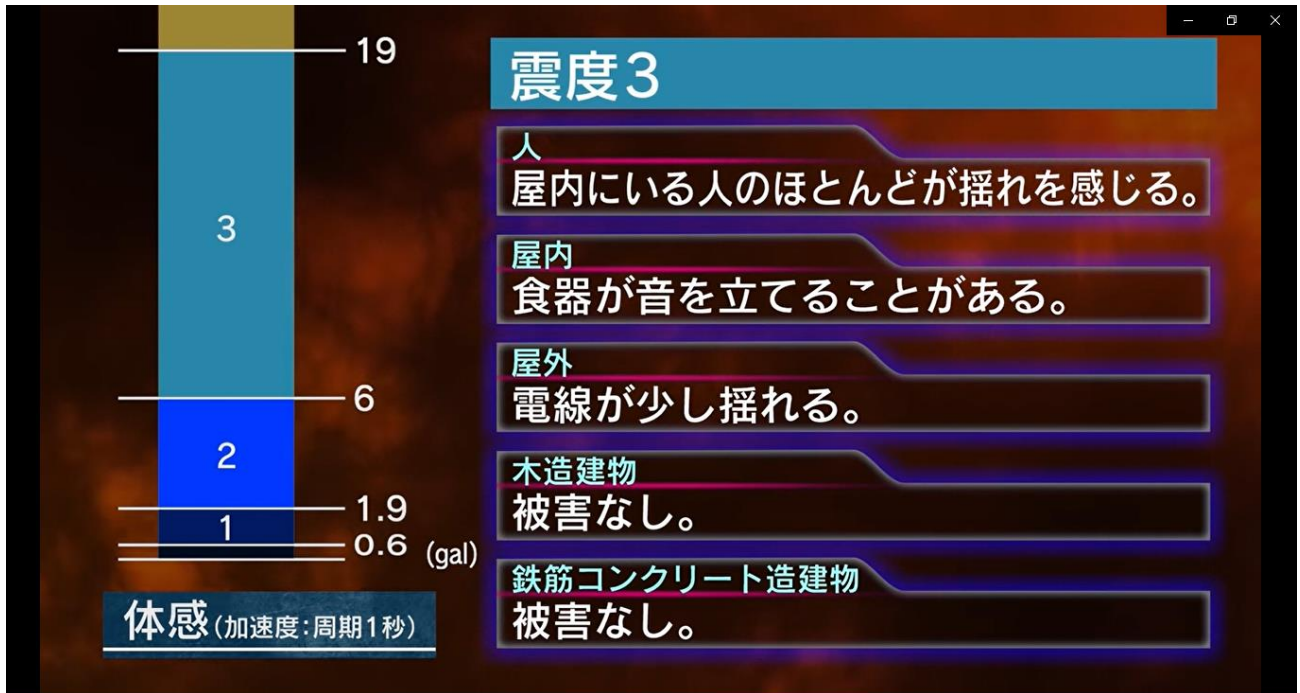
相澤 正幸

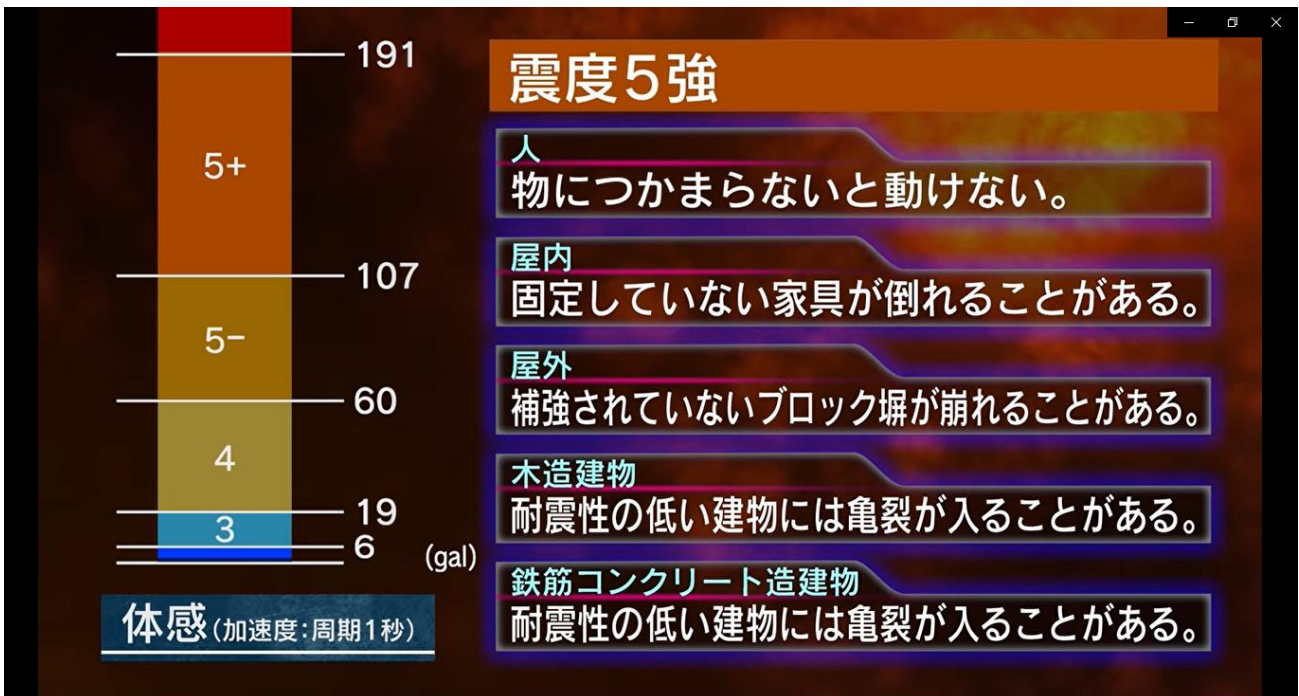
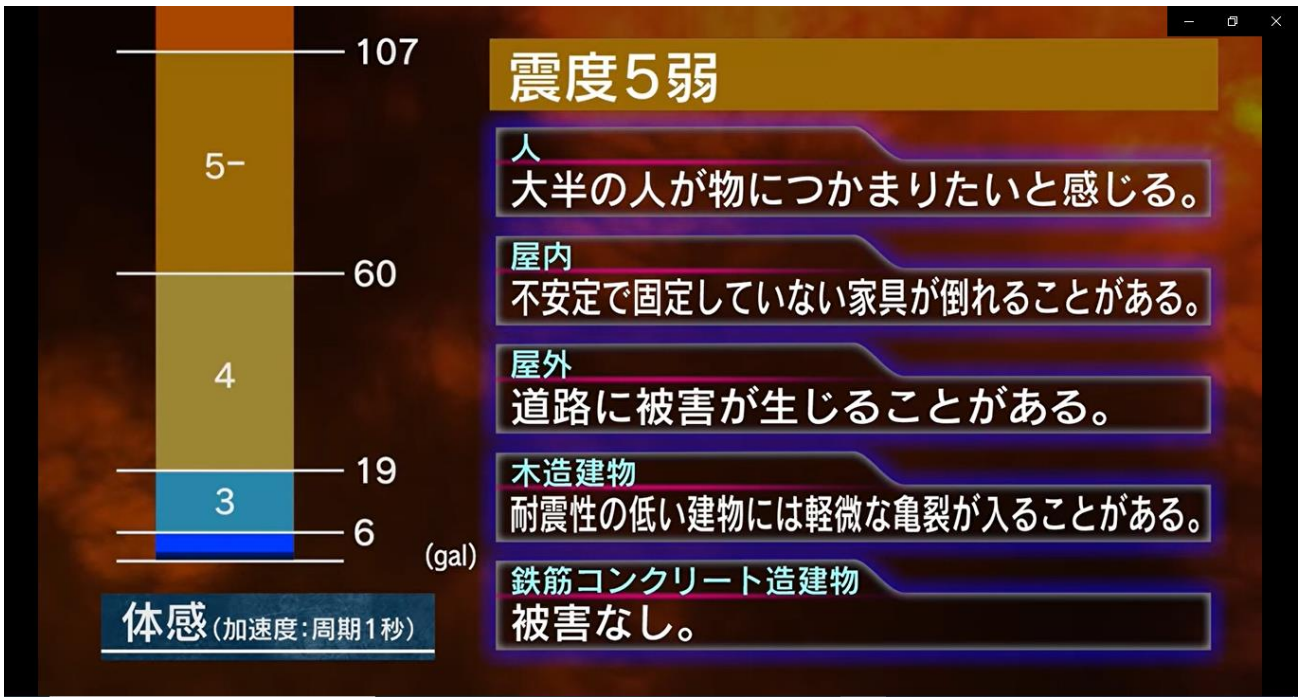
2021年5月20日作成

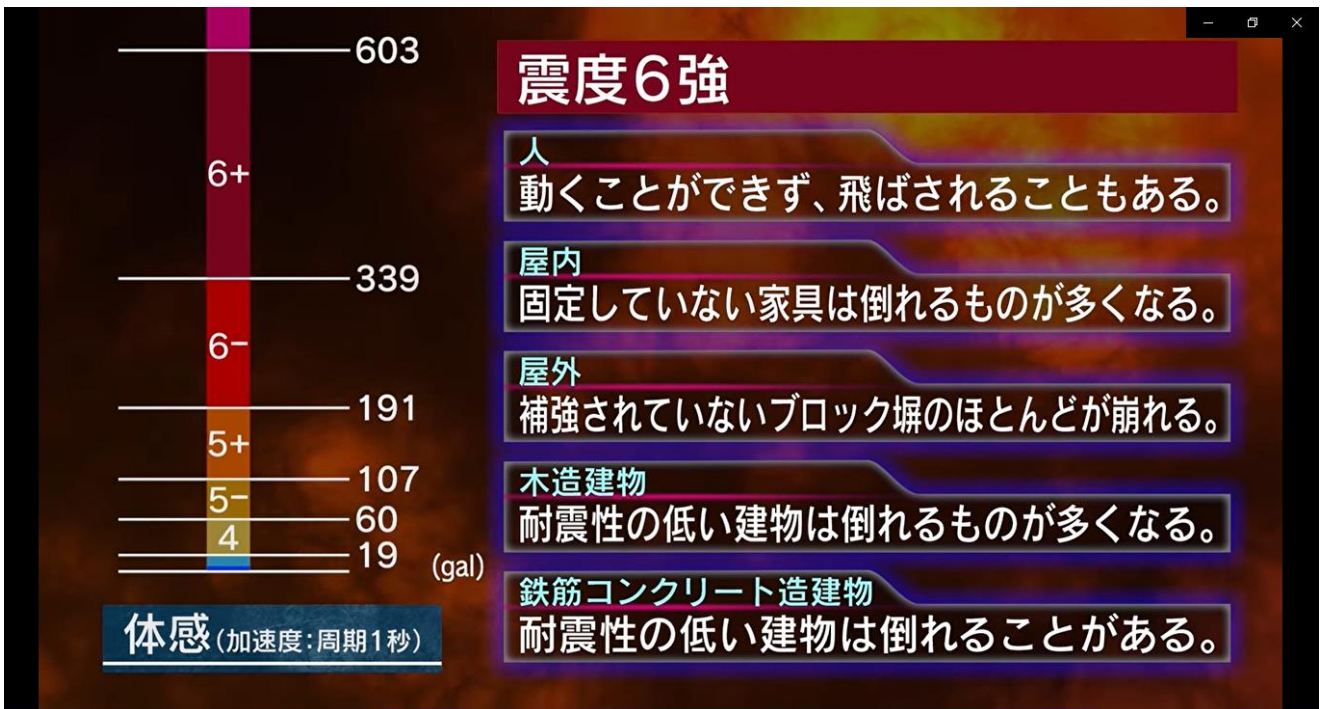
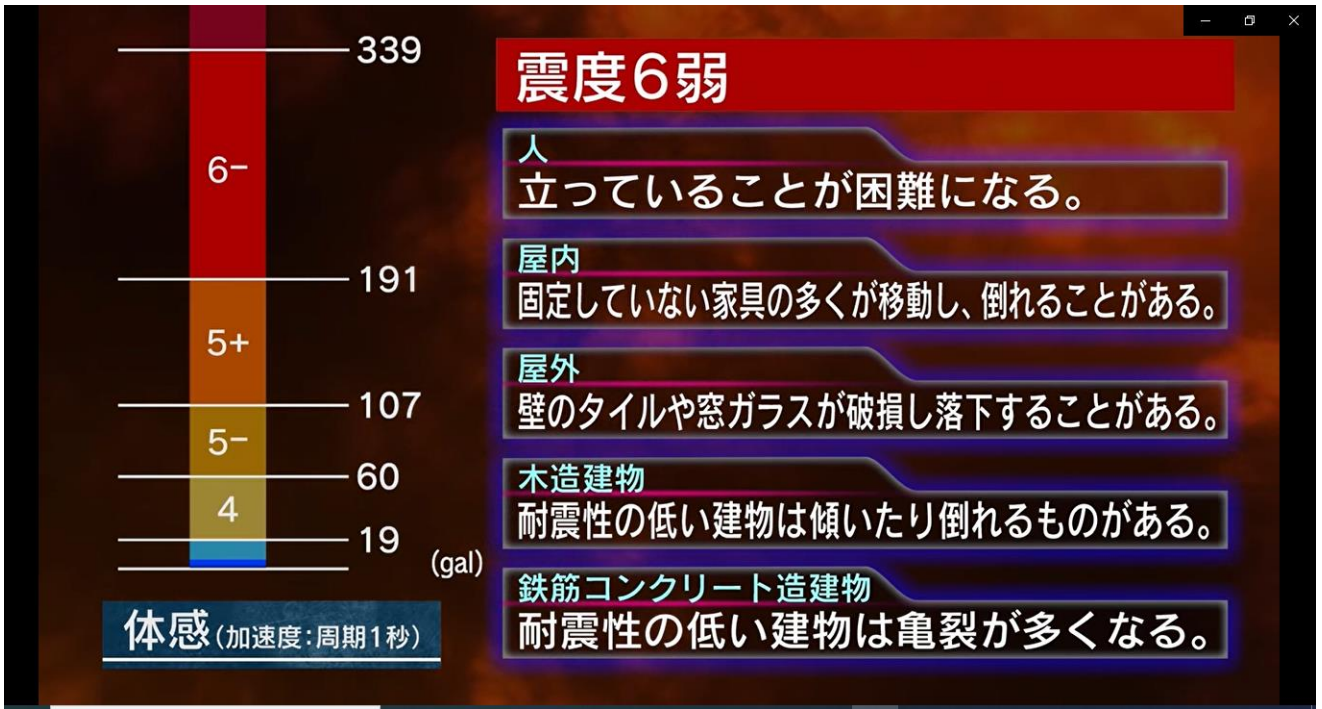
目 次

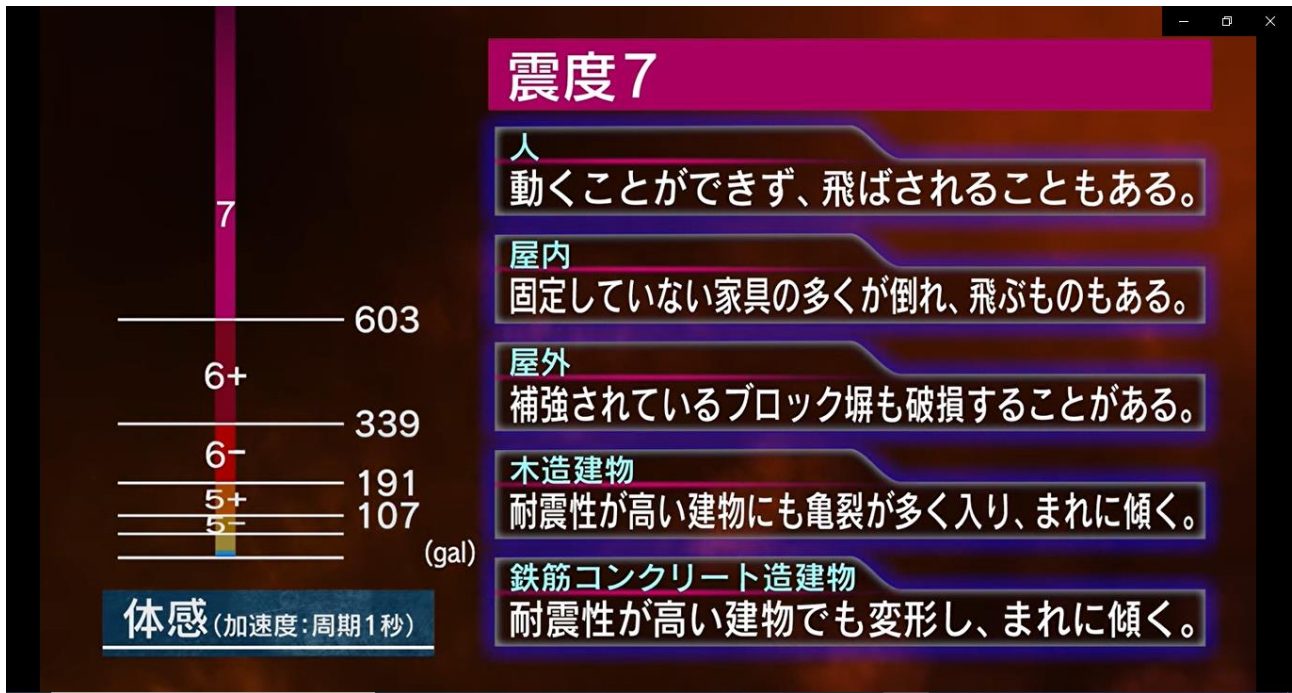
1. 地震について1 ページ
2. 地震と建築基準法5ページ
3. 建物の構造6ページ
4. 新耐震基準とは7ページ
5. 東京団地倉庫の耐震について7ページ
6. 四事業所確認申請・検査済証番号8ページ
7. 防災用トイレ10ページ
8. 大田区ハザードマップ24ページ
9. 大田区平和島海拔と津波の高さ25ページ

1. 地震について









※1Gal=0.01m/s²=1cm/s²

2. 地震と建築基準法

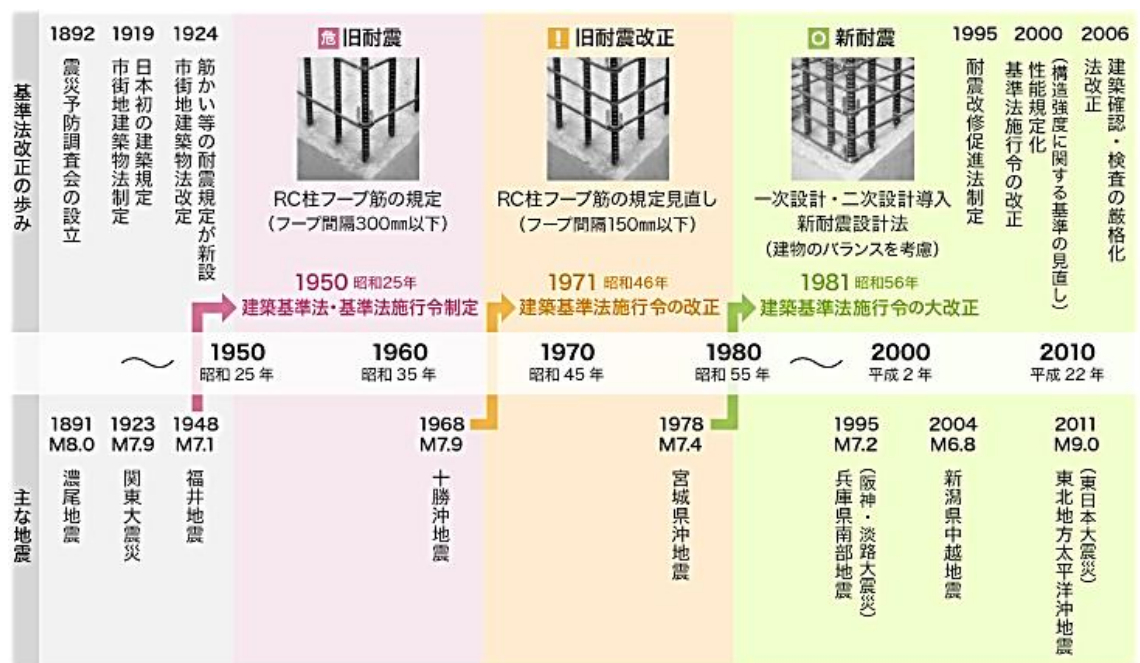
地震経緯と建築基準法改正

日本の建築は、地震とともに進化してきました。

下表の通り、大きな地震があるたびに建築基準法が改正してきました。

現在の新耐震基準は、1978年の伊豆大島近海地震と宮城県沖地震の後、1981年(昭和56年)に建築基準法及び施行令の改訂により、出来ました。

年	地震名	M	死者・行方不明者数	全壊棟数	半壊棟数	出典
1891	濃尾地震	8.0	7,273	14万余	8万余	(1)
1923	関東地震	7.9	142,807	128,266	126,233	(2)
1924	市街地建築物法改正					
1944	東南海地震	8.0	998	26,130	46,950	(2)
1946	南海地震	8.1	1,432	11,591	23,487	(2)
1948	福井地震	7.3	3,895	35,420	11,449	(2)
1950	建築基準法および施行令制定					
1964	新潟地震	7.5	26	2,134	6,293	(2)
1968	十勝沖地震	7.9	52	928	4,969	(2)
1971	建築基準法および施行令改訂					
1975	大分県中部地震	6.4	0	58	93	(1)
1977	既存建物の耐震診断基準・改修指針					
1978	伊豆大島近海地震	7.0	25	96	616	(2)
1978	宮城県沖地震	7.4	28	1,383	6,190	(2)
1981	建築基準法および施行令改訂					
1983	日本海中部地震	7.7	104*	1,584	3,515	(2)
1993	釧路沖地震	7.8	2	53	254	(3)
1993	北海道南西沖地震	7.8	230*	601	408	(4)
1994	北海道東方沖地震	8.1	0	61	348	(4)
1994	三陸はるか沖地震	7.5	3	72	429	(4)
1995	兵庫県南部地震	7.2	5,504**	100,209**	107,074**	(4)

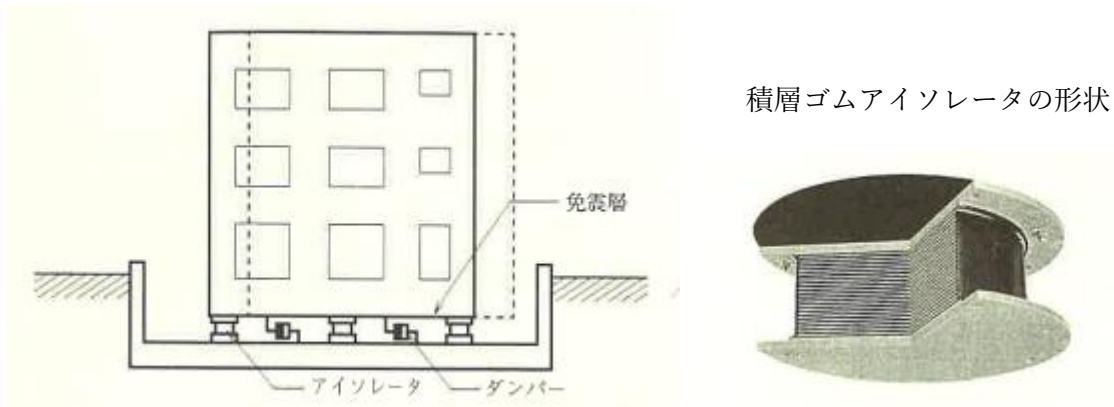


3. 建物の構造

免震構造・耐震構造・制震構造について

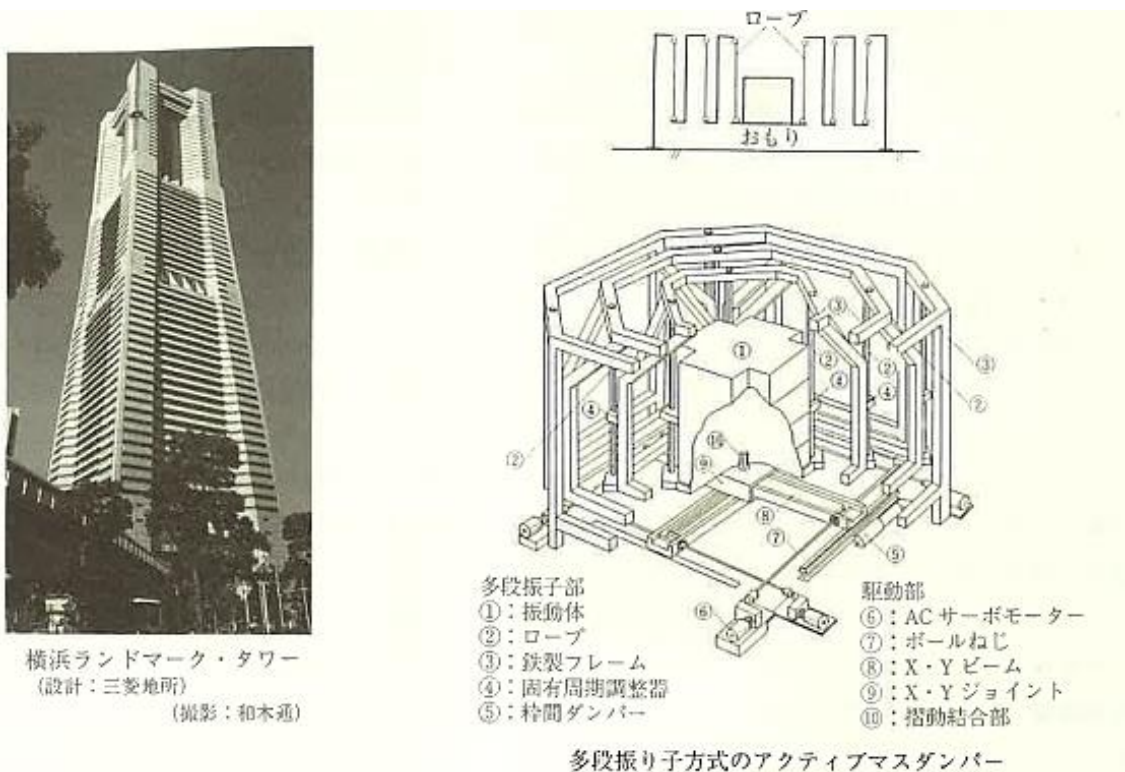
(1) 免震構造: 揺れを吸収する

地震が発生した際に揺れを吸収し、建物にダメージが直接伝わらないように設計されている構造が免震です。基礎と建物の間に特殊な装置が組み込まれ、これが揺れを吸収するため、体感としてもあまり大きな揺れを感じることがなくなります。



(2) 制震構造: 揺れを制御する

頑丈な壁の中に特殊な装置を埋め込み、その装置で地震によって発生した揺れを吸収し、揺れが伝わらないように制御する構造が制震です。建物自体を揺れないように制御できる構造であり、設置している家具や家電の転倒を防ぐというメリットがあり、免震住宅との共通点が多い工法です。



(3) 耐震構造: 揺れに耐える

地震が起きた場合に、建物が倒壊しないように対抗できるパワーを備えさせた構造が耐震です。建物を基盤から頑丈に組み立てることによって、大きなエネルギーが建物に加えられた場合も倒壊などの決定的な被害の発生を避け、建物の内部にいる人の命を守ります。

※東京団地倉庫の四事業所の倉庫は、耐震構造となります。

4. 新耐震基準とは

1981年6月(昭和 56 年 6 月)から施行された新耐震基準の強度は

『震度5強程度の中規模地震では軽微な損傷で収まる』

『震度6強から震度7に達する程度の大規模地震でも倒壊は免れる』

5. 東京団地倉庫の耐震について

事業所名	棟名	耐震性
平和島事業所	ABC棟	新耐震基準適合 建築確認申請は 2001 年(平成 13 年)以降に申請済み
	D棟	新耐震基準適合 2013 年(平成 25 年)耐震補強済み
板橋事業所	板橋倉庫北ブロック	新耐震基準適合 2005 年(平成 17 年)日建設計診断済み
	板橋倉庫南ブロック	2006 年(平成 18 年)耐震補強済み 新耐震基準適合
足立事業所	北棟	新耐震基準適合
	南棟	2005 年(平成 17 年)の耐震診断済み
葛西事業所	ABC棟	新耐震基準適合 建築確認申請は 1984 年(昭和 59 年)以降に申請した為

		確認申請番号	検査済証番号	敷地面積
		年月日 (初回)	竣工日【行政検査年月日】	建築面積 延べ床面積【倉庫のみ】
平和島	A-1 棟 (SRC) B1-6 階・塔屋 1 階	15 第 0823 号	15 第 0823 号	22,315. ³⁴ m ²
		2003 年 12 月 22 日	2004 年 1 月 14 日	12,820. ⁶⁶ m ²
		(2002 年 3 月 29 日)		62,009. ³⁹ m ²
	A-2 棟 (SRC) B1-6 階・塔屋 1 階	15 第 0824 号	15 第 0824 号	14,707. ⁹⁵ m ²
		2003 年 12 月 22 日	2004 年 1 月 16 日	8,679. ⁰⁴ m ²
		(2002 年 3 月 29 日)		41,776. ⁵¹ m ²
	B 棟 (SRC) B1-6 階・塔屋 1 階	13 都市建指確第 205 号	13 都市建指確第 205 号	20,521. ⁸⁹ m ²
		2001 年 12 月 20 日	2001 年 12 月 26 日	12,308. ⁵⁴ m ²
		(2000 年 3 月 16 日)		59,724. ⁰⁶ m ²
	C 棟 (SRC) B1-6 階・塔屋 1 階	15 都市建指確第 1105 号	15 都市建指確第 1105 号	15,444. ⁵⁵ m ²
		2004 年 4 月 21 日	2005 年 12 月 12 日	4,815. ³² m ²
				23,445. ⁶⁹ m ²
D・K (旧) 棟 (SRC) B1-6 階・塔屋 1-2 階	第 57 号	第 57 号	15,282. ⁰⁰ m ²	
	1980 年 1 月 31 日	1982 年 3 月 5 日	3,663. ⁰¹ m ²	
			16,754. ⁹⁹ m ² 【14,266. ⁷³ m ² 】	
K (新) (RC) 1-5 階	第 375 号		15,282. ⁰⁰ m ²	
	1985 年 11 月 1 日		334. ⁵⁰⁶ m ²	
			1,706. ⁷⁹⁴ m ²	
板橋	倉庫棟 (SRC) 1-5 階・塔屋 1-2 階	第 233 号	第 233 号	36,633. ⁰⁸⁸ m ²
		1972 年 5 月 31 日	1973 年 8 月 10 日	19,540. ⁸⁴³ m ²
				101,492. ¹⁰⁸ m ²
	K 棟 (S) 1-2 階・塔屋 1 階	第 2177 号	第 2177 号	36,633. ^{088}}
		1973 年 4 月 24 日	1973 年 7 月 23 日	328. ⁴⁷ m ² 649. ⁸⁰ m ²

		確認申請番号	検査済証番号	敷地面積
		年月日 (初回)	竣工日【行政検査年月日】	建築面積 延べ床面積【倉庫のみ】
足立	北棟 (RC一部S) 1-5階・塔屋1-2階	第147号	第147号	39,552.784 m ²
		1975年6月21日	1977年1月20日	13,472.66 m ²
	南棟 (RC一部S) 1-5階・塔屋1階 附属事務棟 (RC) 1-2階	第13号	第13号	39,552.784 m ²
		1975年9月30日	1977年1月20日	9,752.72 m ²
K棟 (RC) 1-2階	第111号	第111号	39,552.784 m ²	
	1976年4月1日	1977年1月20日	362.948 m ²	
K棟 (RC) 3階	第9号	第9号	39,552.784 m ²	
	1986年4月18日	1986年9月10日	0 m ²	
葛西	A・B1-4・K棟 (SRC) 1-5階・塔屋2階	第2号	第2号	72,999.0 m ²
		1984年8月6日	1985年9月17日	14,250.0 m ²
				59,898.09 m ²
	B5-8 (SRC) 1-5階・塔屋2階	第9号	第9号	72,999.0 m ²
		1985年3月7日	1986年4月9日	5099.21 m ²
	C棟 (SRC) 1-5階・塔屋2階	第1号	第1号	72,999.0 m ²
1985年6月19日		1986年9月4日	11,511.74 m ²	
			47,899.32 m ²	

7.防災用トイレ

テナント様にご協力頂き災害用トイレの設置を行いました



災害用トイレの骨組みを組んでいます



テントをかぶせ紐で結べば完成です



ご協力いただいたテナント様ありがとうございました



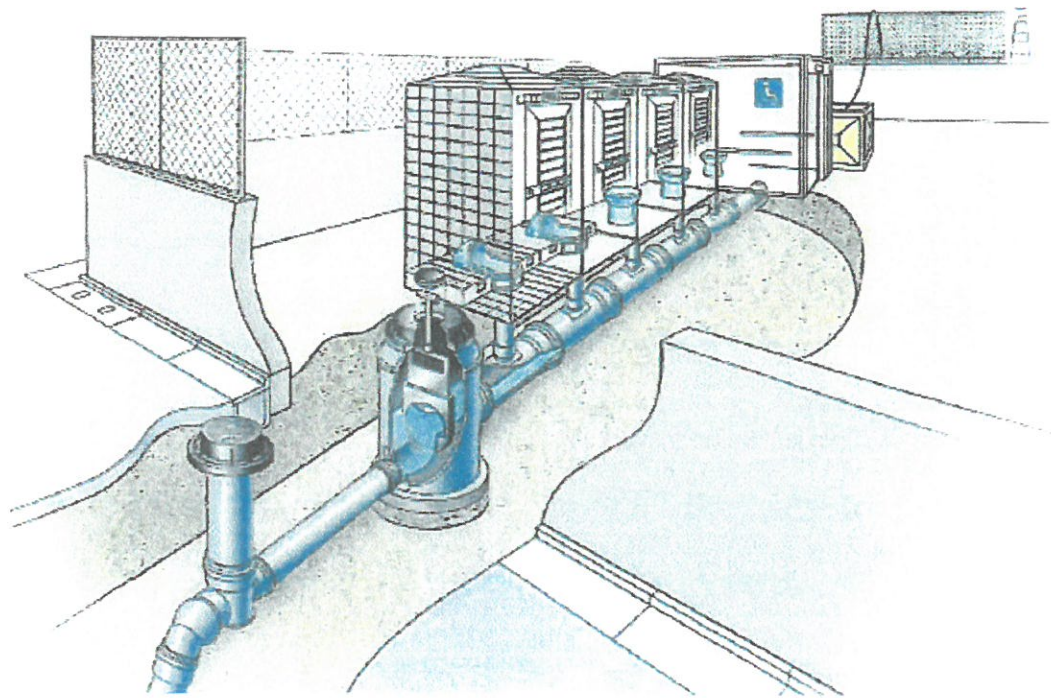
実際に発電機を作動させ水を流すところまで行いました



溜まった汚水を排水しています

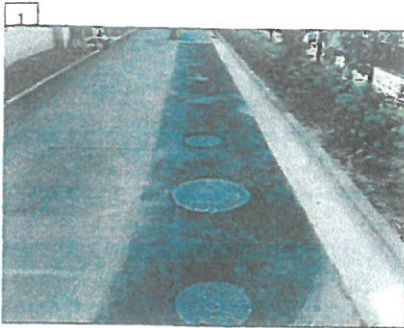


災害時トイレ取扱要領書

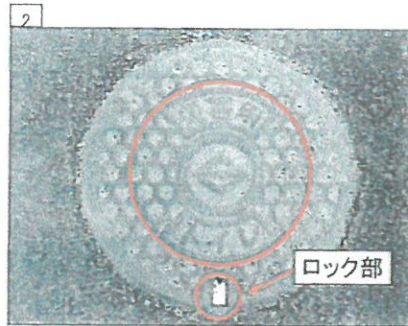


大成設備株式会社東京支店

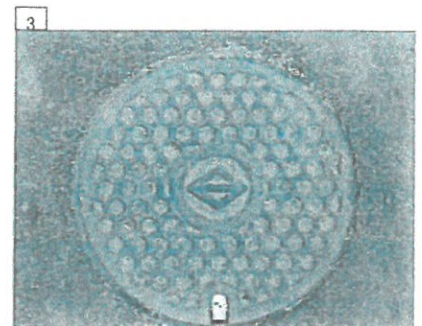
【トイレ設置用マンホール開閉手順】



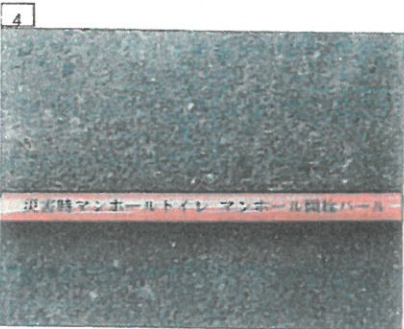
設置前全景



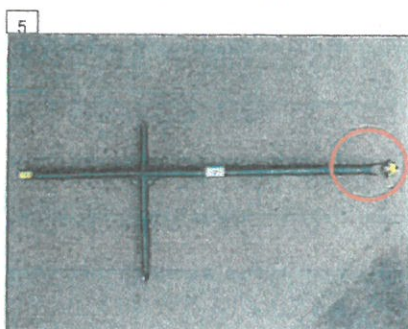
トイレ用マンホール蓋
(トイレの印字を確認)



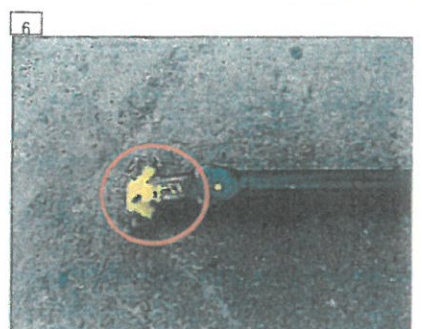
点検及び給水用マンホール蓋
(マーク無を確認)



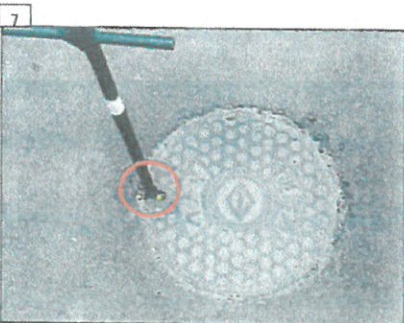
マンホール蓋開閉パール



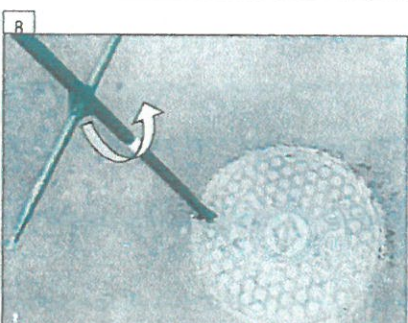
マンホール蓋開閉パール全景
(赤丸部分をマンホールに差込む)



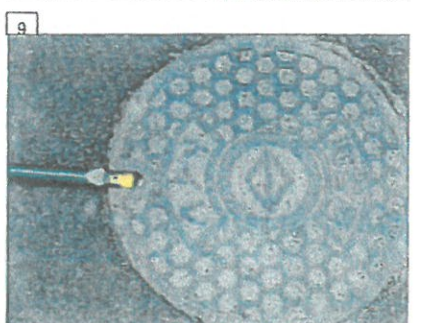
パール差込部拡大図



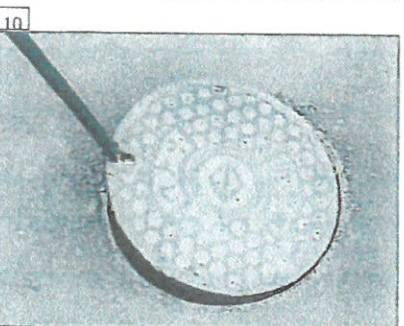
パール差込部を水平にして
マンホール蓋ロック部に差込む



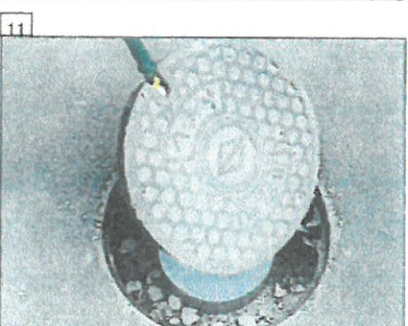
パール差込部を回転させる



硬くなっているマンホール蓋を動かす



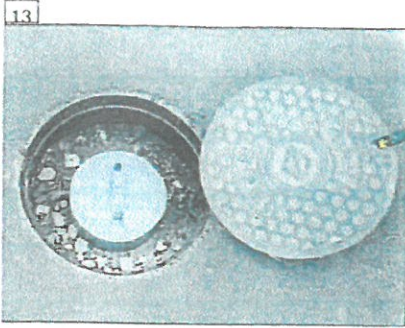
マンホール蓋を上げる



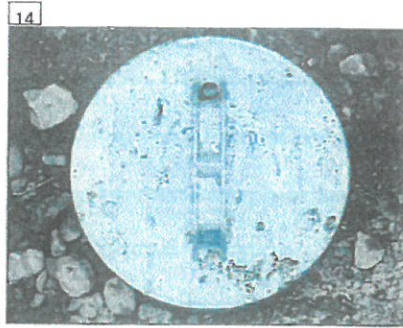
マンホール蓋を上げながら回転させる



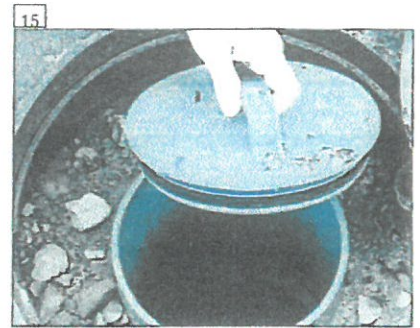
マンホール蓋を回転させる



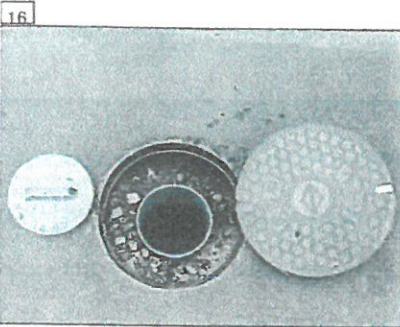
写真のような状況にマンホール蓋を置く



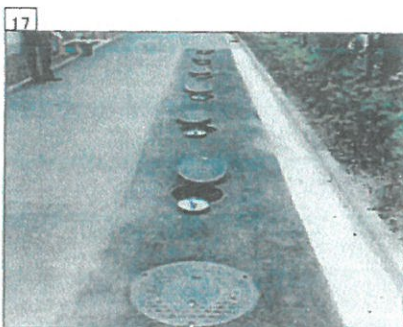
塩ビ製内蓋



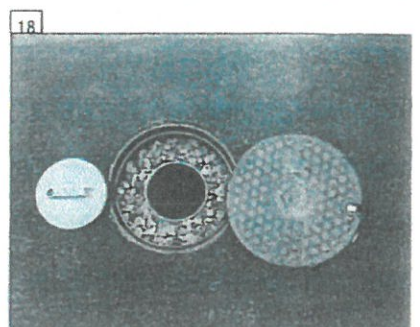
塩ビ製内蓋の取っ手を持ち、引上げる



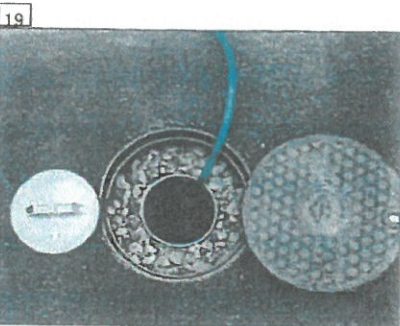
マンホール蓋開孔完了



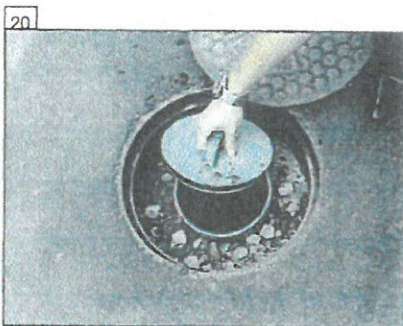
マンホール蓋開孔全景



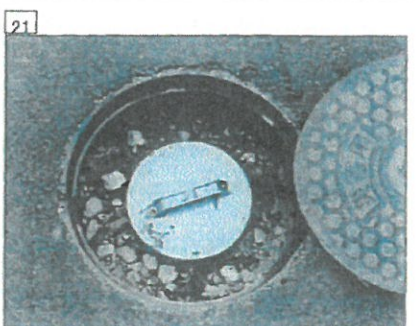
点検及び給水孔への給水



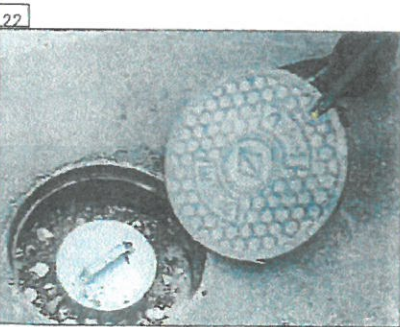
ホースを差込、水を供給する
(各避難所で給水方法は異なります)



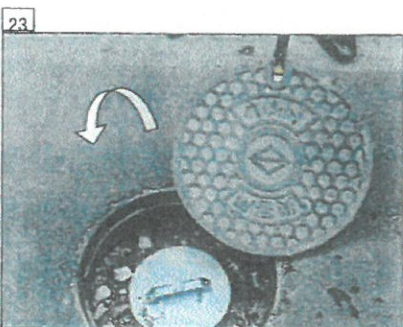
マンホール蓋閉孔、取っ手を持ち
塩ビ製内蓋を閉じる



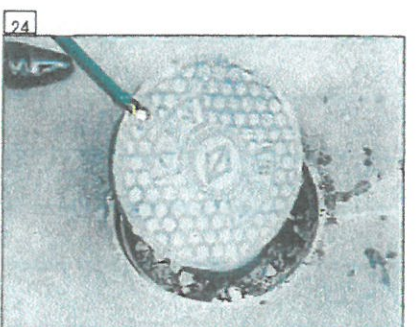
塩ビ製内蓋閉塞完了



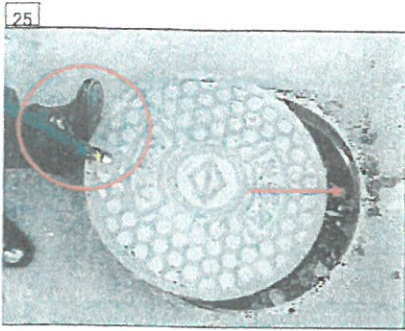
マンホール蓋ロック部にボール差込部を差
込む



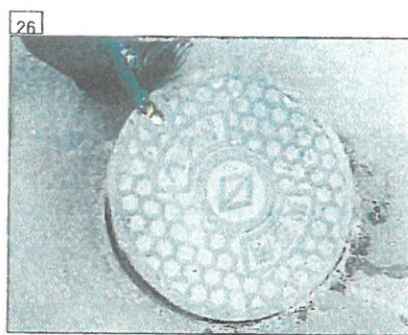
マンホール蓋を引上げながら回転させる



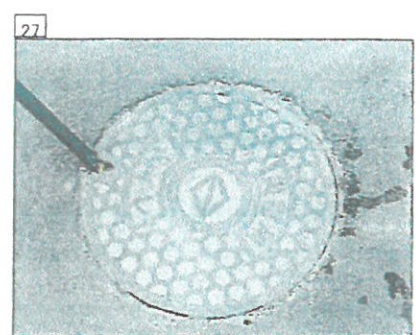
マンホール蓋を回転させる



25 足でマンホールを閉塞位置まで押し込む

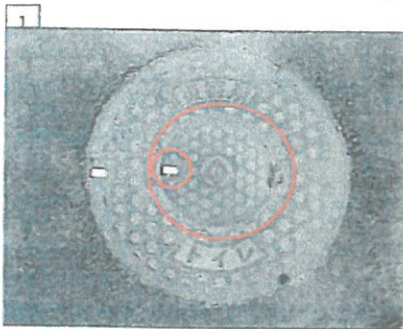


26 マンホール蓋押し込み完了

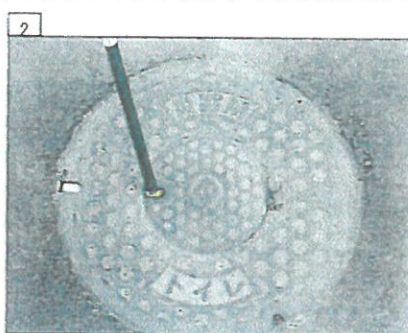


27 ゆっくりマンホール蓋を下ろし、閉塞完了

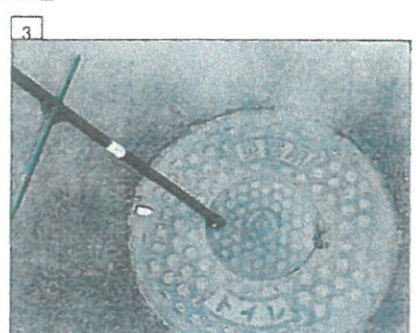
【貯留弁人孔親子蓋開閉手順】



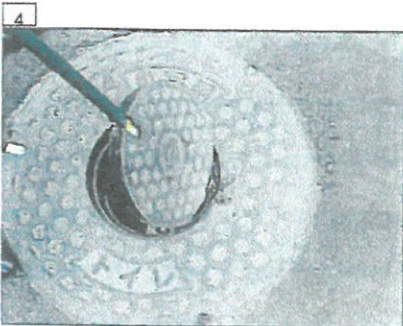
1 貯留弁人孔親子蓋(子蓋部にロック有)



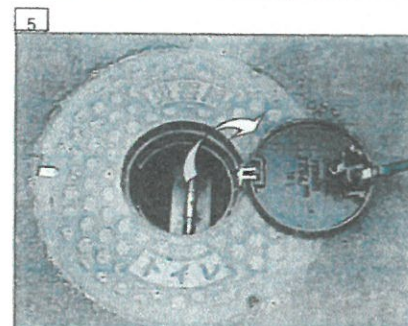
2 パール差込部を水平にして子蓋ロック部に差込む



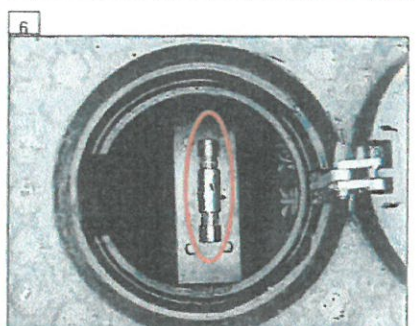
3 パール差込部を回転させる



4 子蓋を上へ引上げる



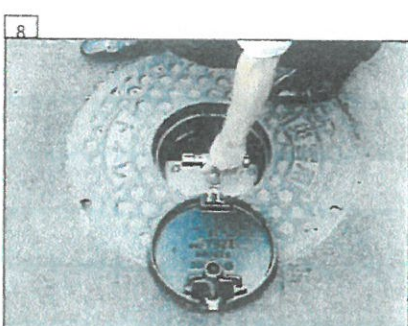
5 子蓋を裏返し、開ける



6 貯留弁を引上げるためのレバーの有無を確認



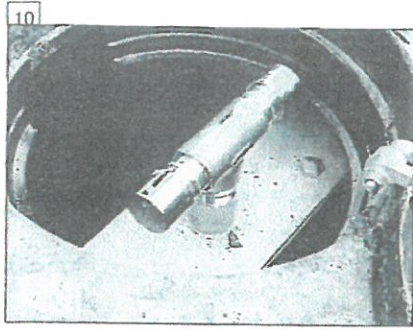
7 レバーを引上げる



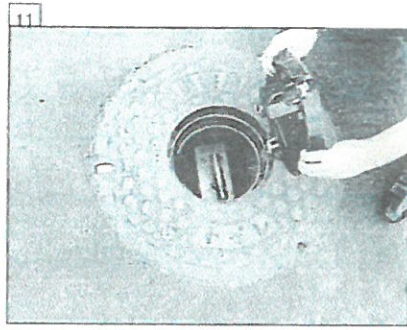
8 レバーを最後まで引上げる



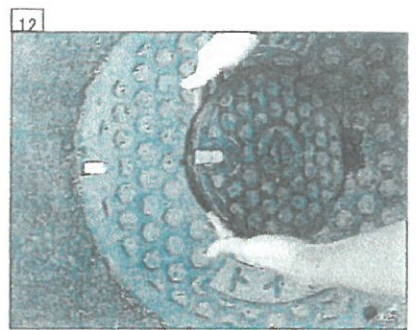
9 汚水が全て流れきるまでレバーを上げた状態で維持する



10
汚水が流れきったら、レバーを離す。
レバーは自動でゆっくりと降下。



11
完了後、子蓋を持ち上げる

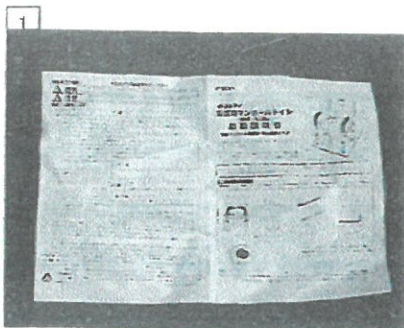


12
子蓋を閉めて、完了

※貯留弁の操作について

トイレの複数回使用后、溜まった汚水を下水道管へ流出する作業です。(夕刻など1日1回を目安)

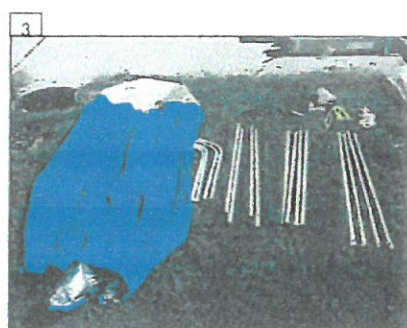
【トイレ(パーソナルテント)設置手順要領】



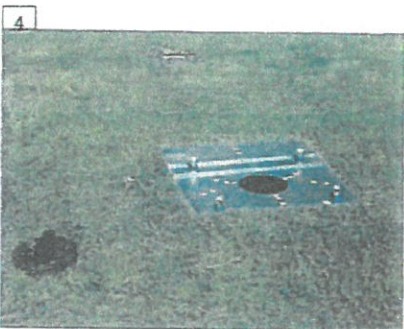
1 トイレ設置取扱説明書



2 便座用部材一式



3 テント用部材一式



4 鉄蓋部分に台座設置



5 台座上部に便座設置



6 便座内部に便器設置



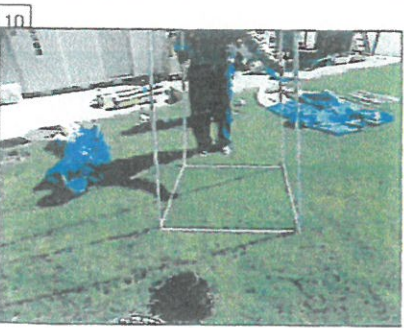
7 便器ホースを上げる



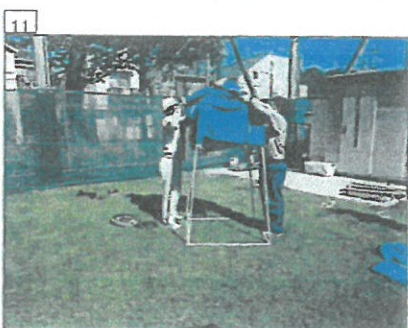
8 台座を付属の杭にて固定



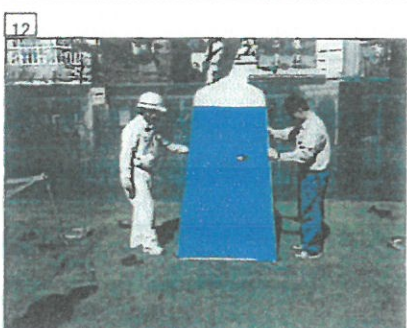
9 テント骨組の組立



10 テント骨組の組立完了



11 骨組にテントを被せる

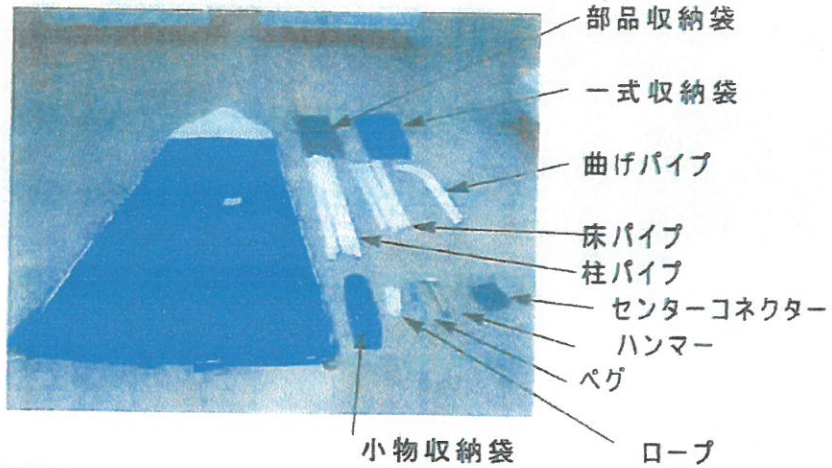


12 テント設置完了

イーストアイバーソナルテント (PTAM) 組み立て手順

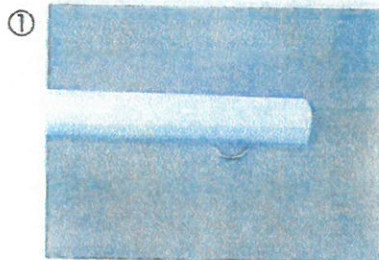
[部品一覧]

テント生地

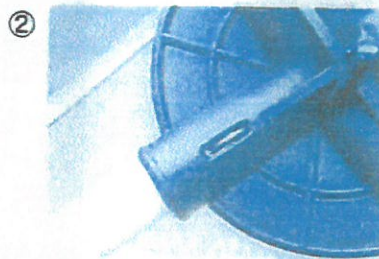


フレームの組み立て

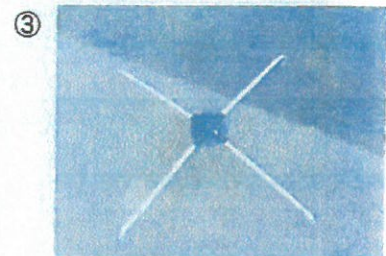
1. 曲げパイプをセンターコネクターに差し込みます



① スプリング



② スプリングがついている方をセンターコネクターにしっかりと差し込みます。

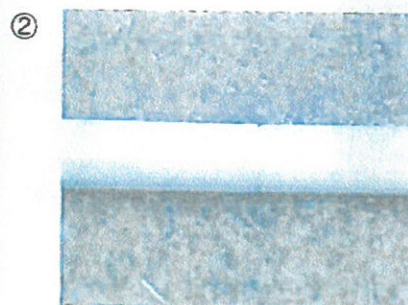


③ 差し込み完了

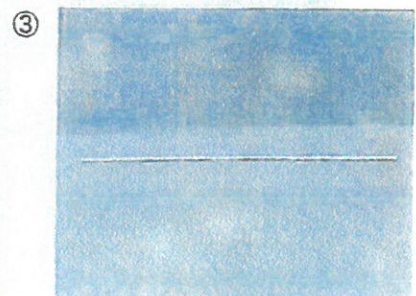
2. 柱パイプを組み立てます



① 柱パイプは鎖で連結されています



② 柱パイプを合わせ差し込みます

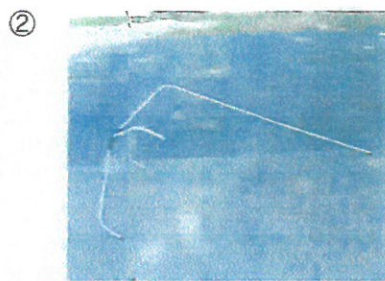


③ 連結完了

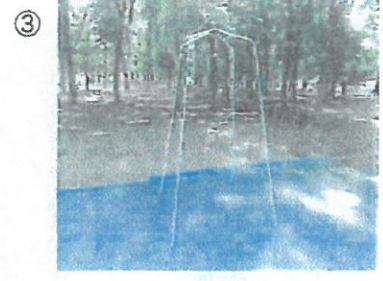
3. 曲げパイプに柱パイプを差し込みます



① 曲げパイプに柱パイプを差し込みます。



② 組み立てがしにくい場合は横にした状態で組み立てをしてください。



③ 骨組み完成

テント生地を取付

4. この状態でテント生地をかぶせ、整えます



生地ファスナーを開いて被せます



生地位置を整え十分に引き下げます。

5. 生地下側の四隅にある金具をパイプに差し込みます

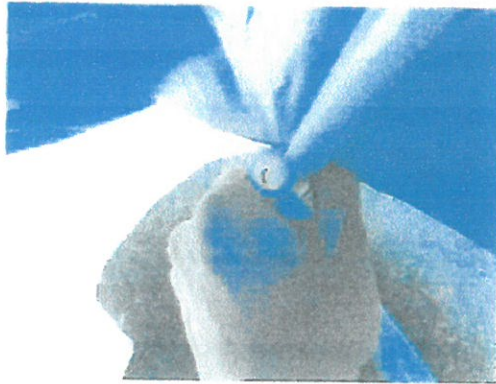


生地四隅のリングの先にある金属棒を折り返すようにしてパイプの中に差し込みます



中に入った状態

6.床パイプを取り付けて完成



フックを柱パイプに取り付けます
入り口面は低くします。

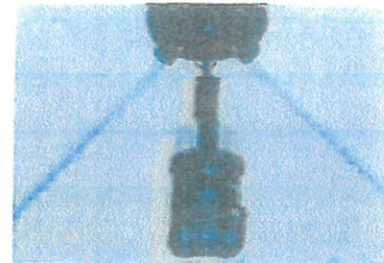


組み立て完成

※補足

NEW!!

センターコネクターに吊り下げ用の穴(φ6)が追加となりました。フック等で照明が簡単に取り付けできます。



テント上方(軒部分)のループを利用して
付属のロープ等で建物や樹木等に固定でき
ます(風対策)

テント下部のループに付属のペグを
打ち込み、土などに固定ができます。
付属のペグやハンマーが使用出来ない
場合は別途ご用意をお願いします

PTAM仕様

本体サイズ：W120×D120×H200 入口サイズ115×170cm 前面ジッパー開閉式。重量：6kg

「使用中」表示窓、換気用メッシュ窓、小物入れ、床固定用ループ、強風用ループ、

付属品：ロープ4本、スチールペグ4本、簡易ハンマー1本

材質：テント生地/(上部)ポリエステル150D・PU防水加工

(サイド)ポリエステル150D・シルバーコーティング加工

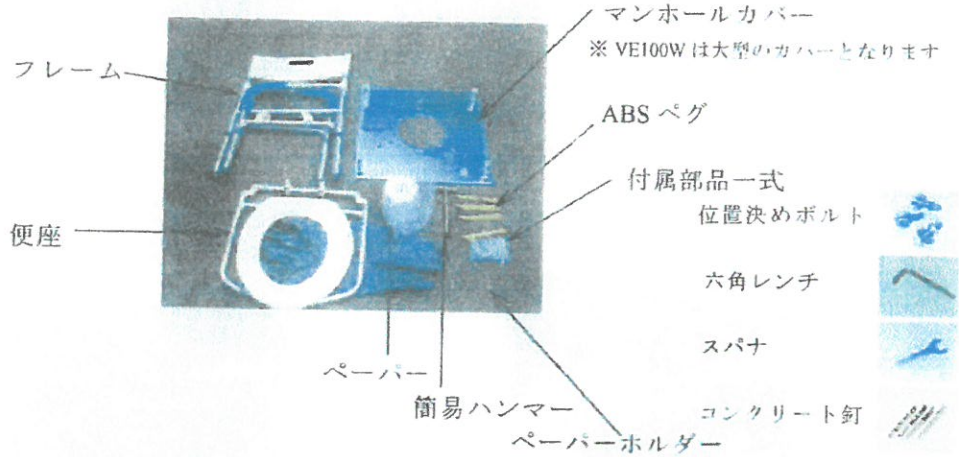
フレーム：スチール

株式会社イーストアイ

PTAM組立手順201505

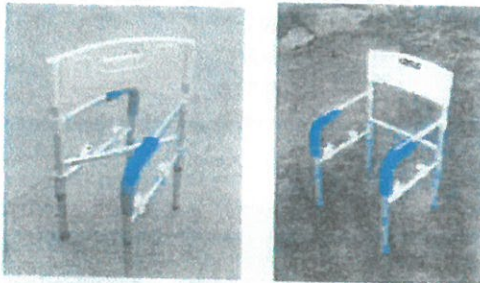
イーストアイ 災害用マンホールトイレ・洋式タイプ (VE100・VE100W) 組立手順-1

[部品一覧・VE100の場合]



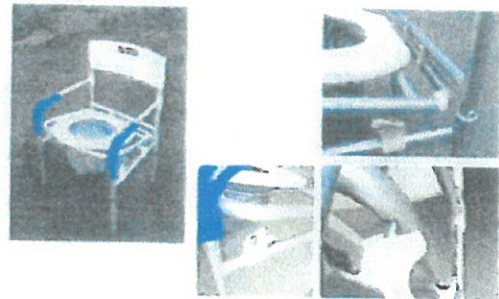
① フレームを広げます。

背もたれの向きに注意して、たたまれているフレームを広げます。



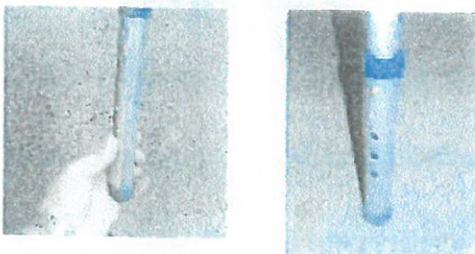
② 便座をフレームに取り付けます。

便座後ろ側の受けを奥のパイプにあて、便座裏側の穴と手すり側のピンを合わせて上から押し込みます。



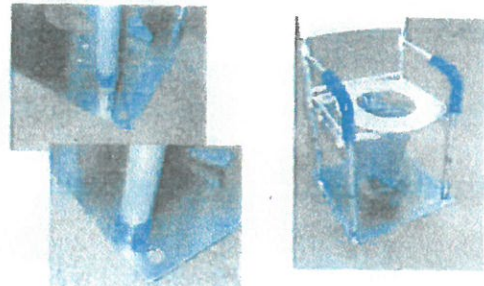
③ 便座高さを調整します。

脚先のブッシュボタンを押し、座面の高さを調整します。「カチッ」と音が出てボタンが4カ所共同位置で確実に飛び出していることを確認してください。穴は、一番下を除いた上4ヶ所が使用できます。



④ マンホールカバーに取り付けます。

マンホールカバーの4カ所のソケットとフレームの各脚を合わせて押し込みます。ソケットは遊びがある(緩んだ)状態にしてください。ソケットは右に回すと緩みます。



イースアイ 災害用マンホールトイレ・洋式タイプ (VE100・VE100W) 組立手順 - 2

⑤ ソケットのボルトを締め付けます。

付属の六角レンチを使って、裏面側からソケットのボルトを4ヶ所共締め付けてください。



⑥ 位置決めボルトを取り付けます。

使用するマンホールの内径に合わせて、位置決めボルトを差し込みます。

内径 30cm の場合 - ③ の穴位置

内径 40cm の場合 - ④ " "

内径 60cm の場合 - ⑥ " " (VE100W)



プレート表

プレート裏側

⑦ マンホールを開けます。

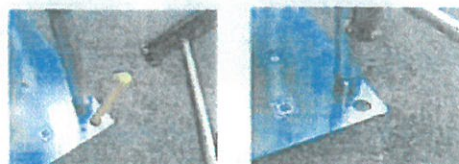
バールなどでマンホールを開けます。フタは完全に外し、紛失しないよう必ず保管してください。(マンホールによって開閉工具は異なります。)



⑧ トイレを設置して固定します

トイレをマンホールに載せ、地面がアスファルトの場合は付属のコンクリート釘、土の場合はベグを使用して、マンホールカバー四隅を固定します。

※設置面の状況により別途固定金具やハンマー等をご用意ください。

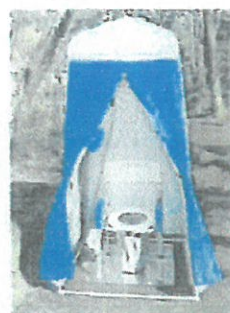


⑨ ペーパーホルダーを取り付けスリーブをセットします。

ペーパーホルダーの形を整え、ペーパーをセットします。マンホール側のスリーブの形を整えて完成です。



⑩ テントをかぶせ完成



株式会社イースアイ

保存版

大田区

ハザードマップ

震災編

あなたのまちの地震の被害を確認!

ハザードマップ **1** 火災の被害想定

ハザードマップ **2** 建物倒壊の被害想定

ハザードマップ **3** 液状化可能性マップ

ハザードマップ **4** 津波ハザードマップ

ハザードマップ **5** 大田区防災マップ

命を守る3原則

1 **Drop!**

ドロップ
姿勢を低くする!

2 **Cover!**

カバー
体を頭を守る!

3 **Hold On!**

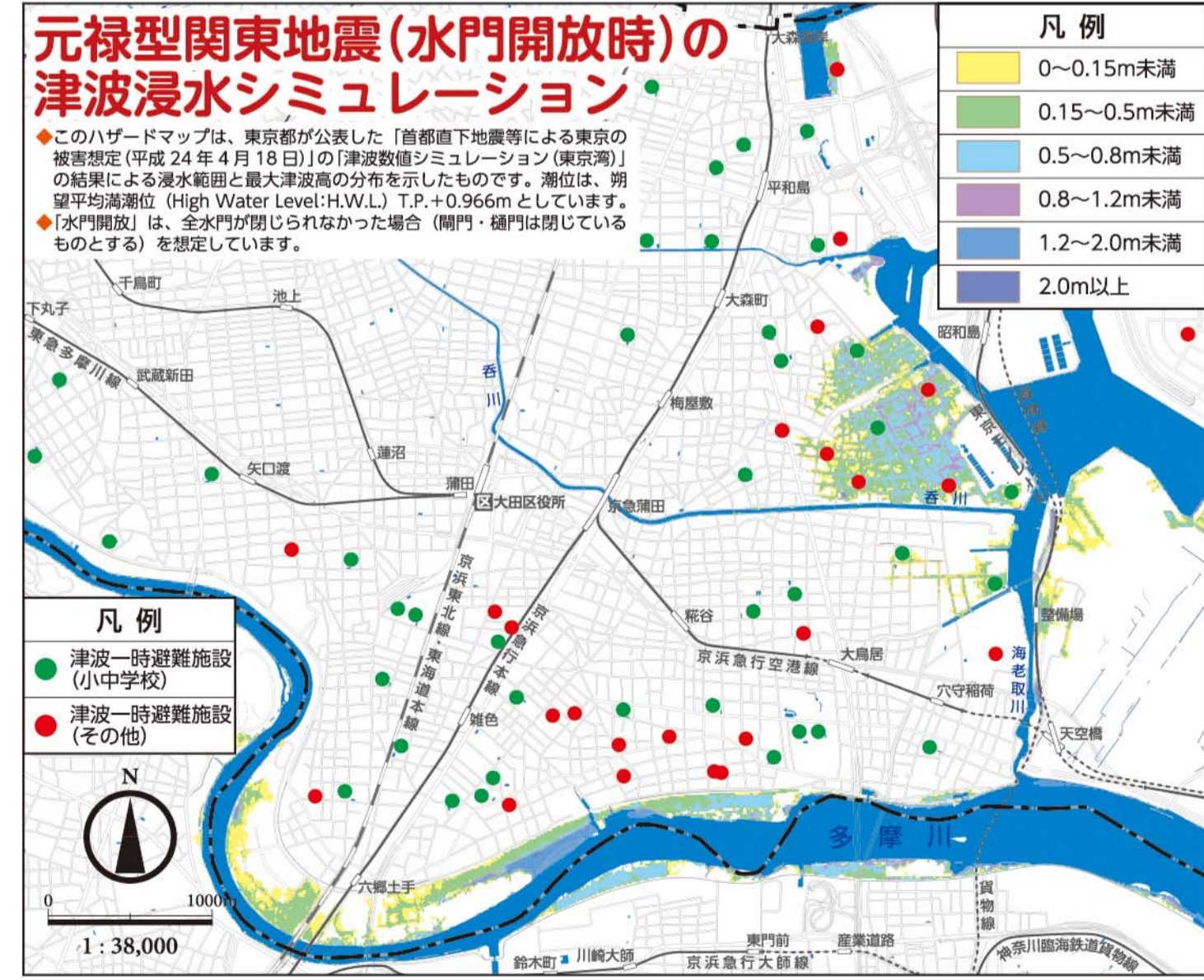
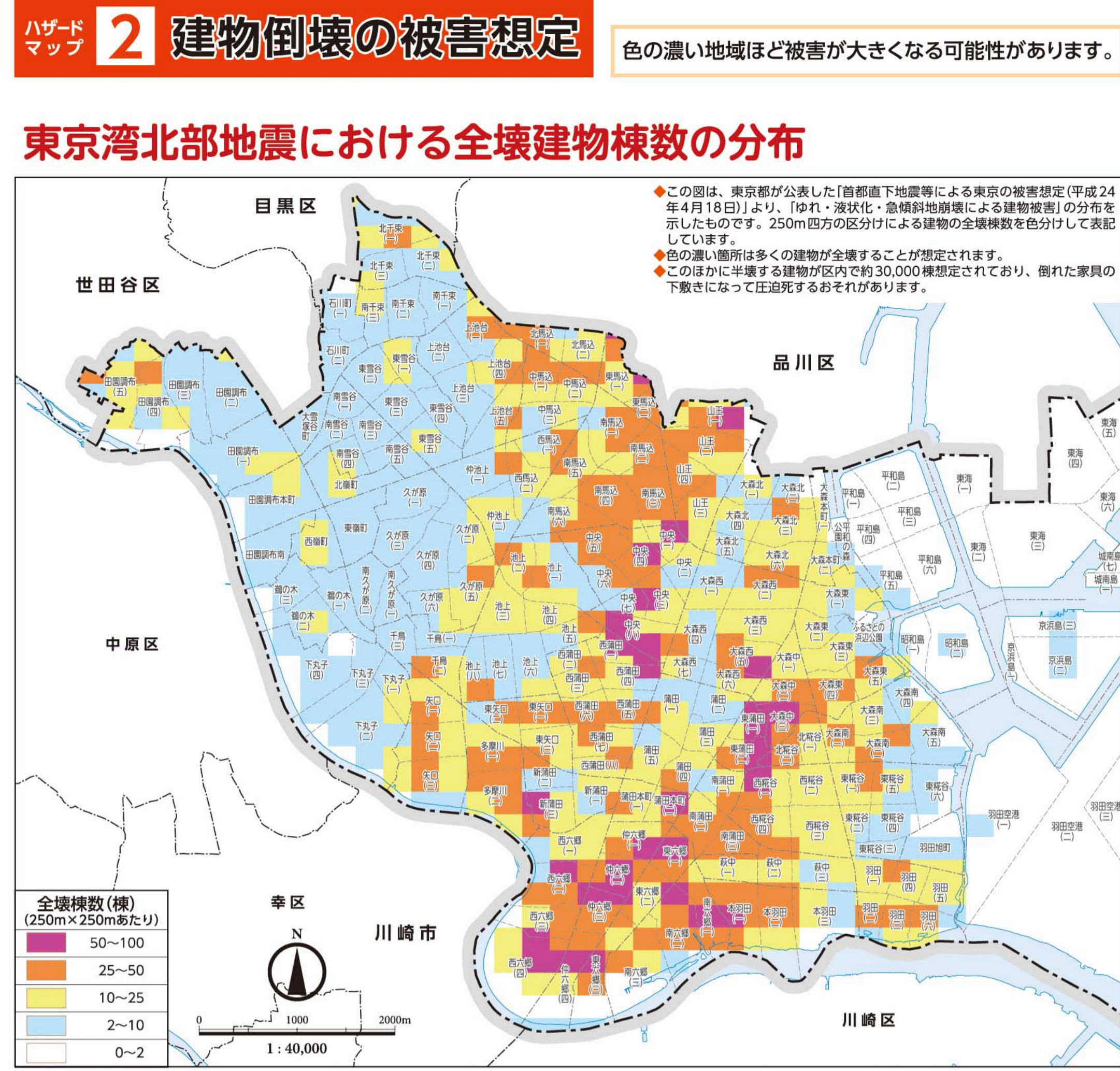
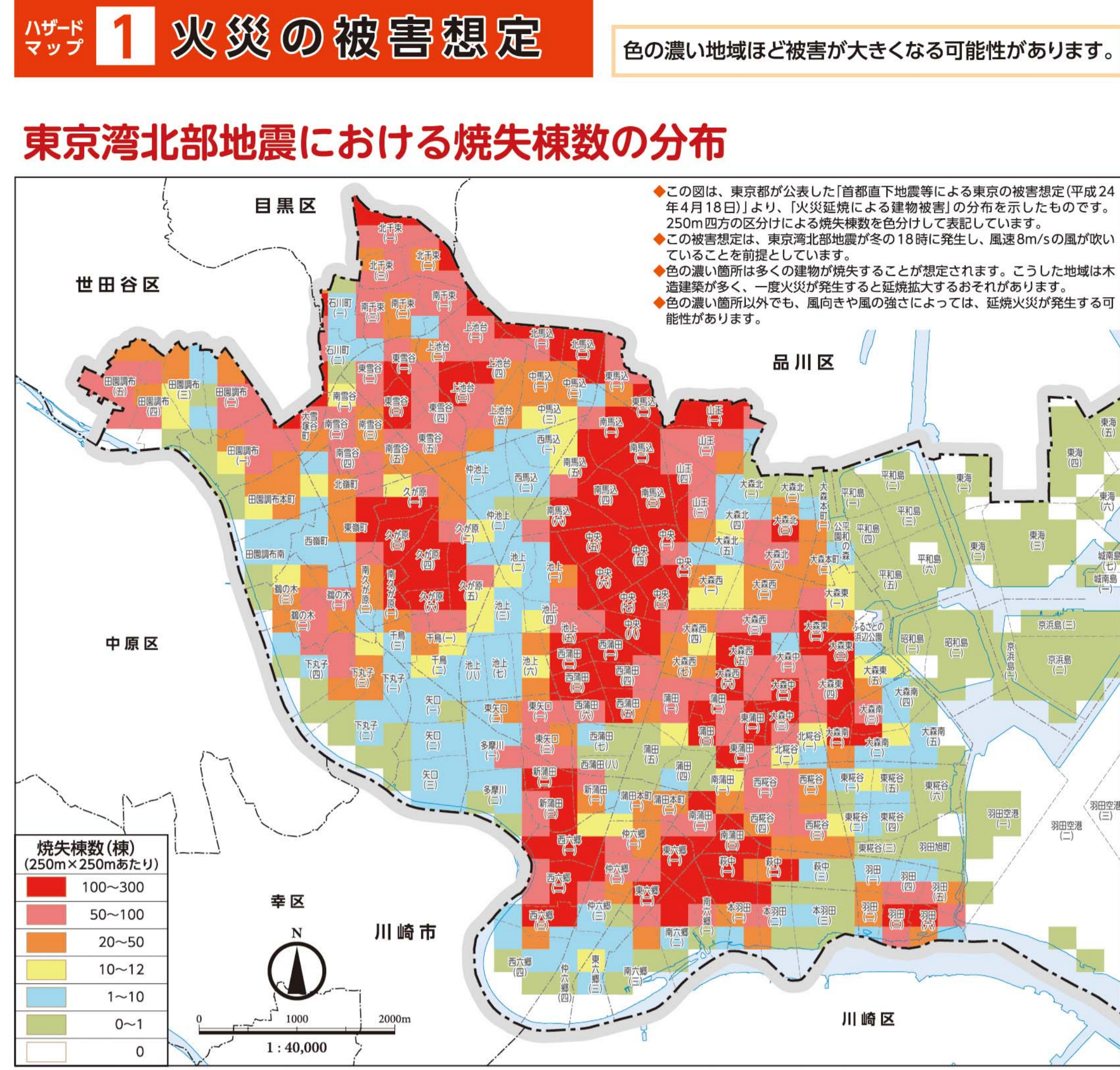
ホールドオン
揺れが収まるまでじっとする!

※イラスト提供：効果的な防災訓練と防災啓発推進会議

地震の時あなたを守る

平成31年(2019年)4月発行

大田区



液状化とは?

液状化とは、地下水を含む地盤が、強い揺れによって泥水のような現象です。地盤上の建物を傾かせたり沈ませたりします。平成23年3月の東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)では、千葉県浦安市において市内の約85%の地域が液状化し、都内でも江東区、葛飾区、江戸川区などの9区で液状化が発生しました。



津波一時避難施設

津波ハザードマップには以下の施設がっています。 ※指定されている学校の位置については裏面の大田区防災マップをご覧ください。

名称	所在地等	名称	所在地等
区立小中学校	39校	仲六郎一丁目第3アパート	仲六郎1-19-1
区営住宅		多摩川二丁目アパート	多摩川2-11-11
大森東一丁目住宅	大森東1-36-7	大森南四丁目住友アパート(テクノFRONT森ヶ崎)	大森南4-6-15
大森南一丁目アパート	大森南1-12-18	シャレル城谷	西桜谷3-23-8
大森南二丁目アパート	大森南2-14-1	中小企業者賃貸住宅(ウイングハイツ)	本羽田2-12-2
大森南三丁目アパート	大森南3-17	京浜前倉庫	京浜前2-10-2
北桜谷一丁目アパート9号棟	北桜谷1-1-9	大田清博工場	京浜前3-6-1
本羽田一丁目アパート	本羽田1-6-24	東京都下水道局森ヶ崎水再生センター	城南島3-2-9
本羽田二丁目アパート	本羽田1-14-1	南部スラッシュプラント	城南島5-2-1
本羽田三丁目アパート	本羽田3-17-20	株式会社リーテム	城南島3-2-15
西六郷三丁目アパート	西六郷3-30-20	株式会社リーフォ	城南島3-3-2
南六郷一丁目アパート	南六郷1-6-12	株式会社リーフォ	城南島3-3-3
南六郷二丁目アパート	南六郷1-10-1	株式会社ライコム・ピア	城南島3-4-3
仲六郎一丁目第2アパート	仲六郎1-12-1	バイオエナジー株式会社	城南島3-4-4

津波一時避難施設 (その他)

名称	所在地等	名称	所在地等
株式会社荏原製作所羽田事務所	羽田田11-1	UR都市再生機構	
丸津株式会社羽田京浜支店	京浜前2-6-1	南六郷一丁目	南六郷1-2-9
東京スパーエーコウタウ協議会城南島地区		西桜谷3-23-8	西桜谷3-23-8
株式会社リーテム	城南島3-2-9	南六郷3-18-1	南六郷3-18-1
高俊興業株式会社	城南島3-2-15	京浜前2-6-1	京浜前2-6-1
株式会社リーフォ	城南島3-3-2		
成友興業株式会社	城南島3-3-3		
株式会社ライコム・ピア	城南島3-4-3		
バイオエナジー株式会社	城南島3-4-4		

※平成30年8月現在

地震が発生したら、テレビラジオなどで津波の情報を確認しましょう。

9. 大田区平和島海拔と津波の高さ

東京都大田区平和島3丁目(東京団地倉庫平和島倉庫)は**海拔4.2m**あります。

元禄関東地震(1703年)の**津波高さが2m**です。

東京団地倉庫平和島倉庫は過去の津波よりも高い所にありますので安心して下さい。

変一時避難施設です



大森中三丁目	2.3	北堀谷一丁目	1.9	東海三丁目	5.4	東六郷一丁目	2.8
大森西一丁目	3.0	北堀谷二丁目	2.0	東海四丁目	5.3	東六郷二丁目	2.9
大森西二丁目	2.5	北千束一丁目	34.9	東海五丁目	4.3	東六郷三丁目	2.4
大森西三丁目	2.6	北千束二丁目	34.7	東海六丁目	4.3	ふるさとの浜辺公園	3.5
大森西四丁目	2.9	北千束三丁目	31.2	仲池上一丁目	13.6	平和島一丁目	3.3
大森西五丁目	2.8	北馬込一丁目	28.3	仲池上二丁目	7.7	平和島二丁目	4.2
大森西六丁目	2.7	北馬込二丁目	23.9	中馬込一丁目	24.8	平和島三丁目	4.2
大森西七丁目	3.2	北馬込三丁目	19.6	中馬込二丁目	17.5	平和島四丁目	4.7
		北馬込四丁目	15.3	中馬込三丁目	22.2	平和島五丁目	4.2
		久が原一丁目	9.2	仲六郷一丁目	3.2	平和島六丁目	3.9
		久が原二丁目	18.8	仲六郷二丁目	3.1	平和の森公園	4.5
		久が原三丁目	16.7	仲六郷三丁目	3.2	本羽田一丁目	2.3
		久が原四丁目	10.8	仲六郷四丁目	2.7	本羽田二丁目	2.0
		久が原五丁目	15.7	西蒲田一丁目	3.4	本羽田三丁目	2.2
		久が原六丁目	5.2	西蒲田二丁目	4.1	南蒲田一丁目	2.7
		京浜島一丁目	5.6	西蒲田三丁目	3.8	南蒲田二丁目	2.9
		京浜島二丁目	4.5	西蒲田四丁目	3.3	南蒲田三丁目	2.6
		山王一丁目	16.0	西蒲田五丁目	3.2	南久が原一丁目	14.2
		山王二丁目	17.0	西蒲田六丁目	3.7	南久が原二丁目	14.3
		山王三丁目	9.8	西蒲田七丁目	3.5	南千束一丁目	27.9
		山王四丁目	14.4	西蒲田八丁目	3.6	南千束二丁目	25.0
		下丸子一丁目	4.6	西堀谷一丁目	2.4	南千束三丁目	30.1
		下丸子二丁目	4.4	西堀谷二丁目	2.0	南馬込一丁目	18.8
		下丸子三丁目	5.1	西堀谷三丁目	1.9	南馬込二丁目	15.3
		下丸子四丁目	5.2	西堀谷四丁目	2.4	南馬込三丁目	13.7
		城南島一丁目	4.1	西馬込一丁目	15.9	南馬込四丁目	15.0
		城南島二丁目	4.8	西馬込二丁目	18.8	南馬込五丁目	16.0
		城南島三丁目	4.0	西馬込三丁目	14.0	南馬込六丁目	12.7
		城南島四丁目	3.4	西六郷一丁目	3.9	南雪谷一丁目	18.3
		城南島五丁目	4.9	西六郷二丁目	3.6	南雪谷二丁目	23.3
		城南島六丁目	5.2	西六郷三丁目	3.2	南雪谷三丁目	16.3
		城南島七丁目	4.8	西六郷四丁目	2.5	南雪谷四丁目	21.8
		昭和島一丁目	3.9	萩中一丁目	2.6	南雪谷五丁目	11.7
		昭和島二丁目	5.2	萩中二丁目	2.3	南六郷一丁目	2.3
		新蒲田一丁目	3.9	萩中三丁目	1.9	南六郷二丁目	2.3

東京湾の過去の津波の高さ(単位:メートル,羽鳥徳太郎氏作成)



平和島の土地及び海拔並びの津波の高さイラスト

